

「パンパン音がして」新宿で電動自転車が突然炎上 中国製の非純正バッテリーが爆発か…“火の玉”の 目撃情報も

5/30(火) 19:51 配信

FNNプライムオンライン



FNNプライムオンライン

東京・新宿区の交差点付近で上がった炎。燃えていたのは、電動アシスト自転車だ。バッテリーから突然、火が出たという。 [【画像】突然炎上した電動自転車。鎮火するも周囲には焼け跡が残った](#) 現場は、JR 新宿駅から約 250m 東にある、新宿 4 丁目交差点。5 月 30 日午前 11 時半過ぎ、目撃者から「自転車が燃えている」と通報があった。周囲に煙が立ち込める中、近くの横断歩道を多くの通行人が行き交っていた。現場近くにいた人：外出先から会社に戻るとき、ここ規制線張られてまして。何した

んだろうと思って、前の方でのぞきこんだら、あそこで自転車が燃えているっていう。結構火が出てたのでびっくりしてしまいました。みなさんやっぱり「えっ?何が起きてるの?」という状況で。

出火したのはサドル付近のバッテリー

周囲には、爆発したような音も聞こえたという。現場近くにいた人：なんかパンパン音がして、自転車のあたりから火が上がってたんですね。1番大きい音がしたときには、火の玉みたいな、多分20cmぐらいあったんですかね。ビルの入り口あたりまで飛んでいったのが見えました。自転車の持ち主は30代女性。当時の状況をこう説明している。自転車の持ち主：自転車で乗っていたら煙が出てきて。危ないぞと思って、歩道に自転車を止めたところ、バッテリーが爆発した。警視庁によると、出火したのは、電動アシスト自転車のサドル付近にあったバッテリー。女性は火が出る前に自転車から離れていて、けがはなかった。火は駆け付けた警察官が消火器で消し止めた。

メーカー純正ではない、中国製バッテリーを使っていた

なぜ、バッテリーから突然火が出たのか。女性の説明では、バッテリーはメーカー純正のものではなく、通販で買った中国製のもの。女性は、不具合による出火の可能性を認識しながら使用していたという。警視庁は、出火原因を詳しく調べている。

(「イット!」5月30日放送より)